

# 2022

大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク  
2022年度活動報告書

**Dai Nagoya University Network**  
**ANNUAL REPORT**  
**2022**

# あなたがいれば、カタチが変わる

ナゴヤを舞台に、  
創造と発見で、  
一人ひとりの世界を変える

「NPO法人大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク（以下DNU）」は、  
「まち」と「学び」を掛け合わせて生まれたプロジェクト「大ナゴヤ大学」を運営するため、  
2009年に設立されました。  
2019年からは「あなたがいれば、カタチが変わる」という理念を添えて、  
現在までいくつもの活動やプロジェクトをまとめる器として、在り方を変化させてきました。

つねに何かを生み出し続けているまちは、面白い人の宝庫です。  
そんな人たちとの出会いを通じて、「問い」を見つけ、気づきを得る。  
同時に「わからない」こともたくさん生まれ、そこからさらなる「問い」が生まれる。  
それらを繰り返していくうちに、一人ひとりの行動が変わっていく。

「学び合う」場をつくる。人と人がつながっていく。  
「問い」を起点につながった仲間と、活動やプロジェクトを立ち上げる。  
創造と発見があるコンテンツをつくる。  
学び続けることで、一人ひとりの見えている世界が変わる。

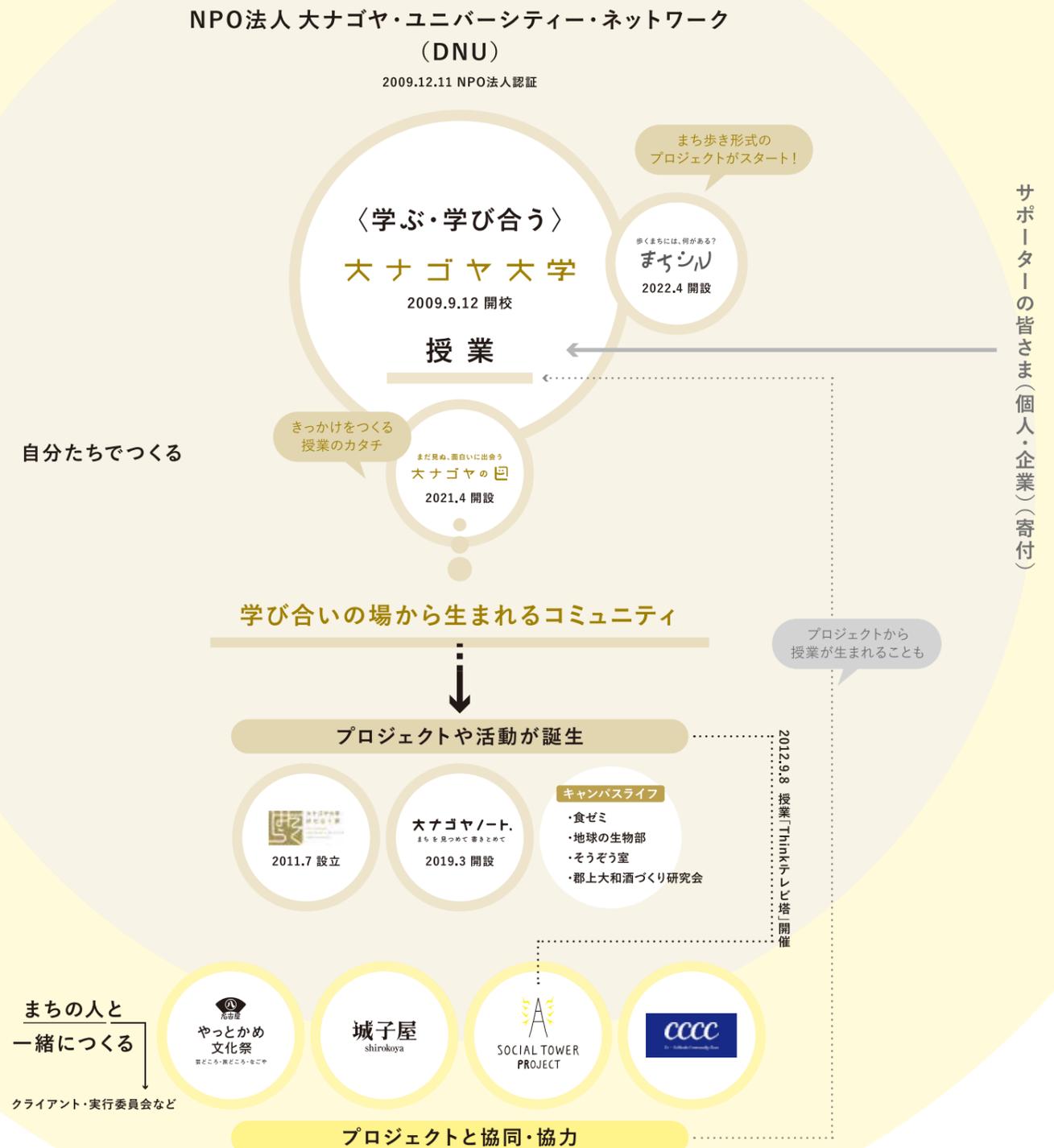
この積み重ねが、やがてまちや社会を形づくっていくのではないのでしょうか。

「あなたがいれば、まちが変わる」

あなたがこのまちの主役です。  
「何をやるか」よりも「誰とやるか」を大切に。

ひとりの思いを大切に、これからも場をつくり続けていきます。

NPO法人  
大ナゴヤ・  
ユニバーシティー・  
ネットワークの全体像



Dai Nagoya University Network  
ANNUAL REPORT  
2022

もくじ

05 自分たちでつくる

06 大ナゴヤ大学

07-09 大ナゴヤの日

10-11 ボラスタインタビュー ワタシの気づき、変化

12 まちシル

13 大ナゴヤノート、／はたらく課

14 キャンパスライフ

15 まちの人と一緒につくる

16 やっとかめ文化祭

城子屋

SOCIAL TOWER PROJECT

17 DNUからのお知らせ

18 DNU理事より

19 財務報告

## 自分たちでつくる

ナゴヤのまちをフィールドに、人と人が学びを通し、つながる。

世代も職業も異なる多様なメンバーが、

ボランティアスタッフやコーディネーターやエディターとなって

主体的につくり上げている事業がいくつもあります。

大ナゴヤ大学

大ナゴヤの日

まちシル



大ナゴヤノート、

まちを見つめて書きとめて

## About

# 大ナゴヤ大学

誰でも先生、誰でも生徒。  
学びの種は、  
まちにあふれている

大ナゴヤ大学には校舎がありません。まちがまるごとキャンパスです。まちの人が先生に、学びたい人が生徒となり、ゆかりの場所が教室に変わります。授業のテーマは、暮らしや働き方、まちの文化・歴史、アート、農業、カルチャー、ものづくり、スポーツなど多種多彩。つねに何かを生み出し続けているまちは、学びの宝庫です。

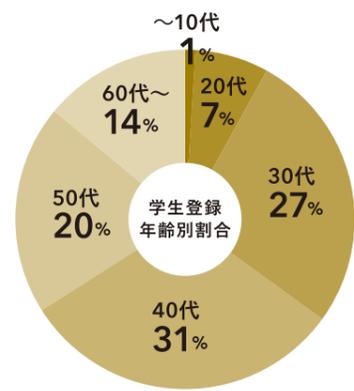
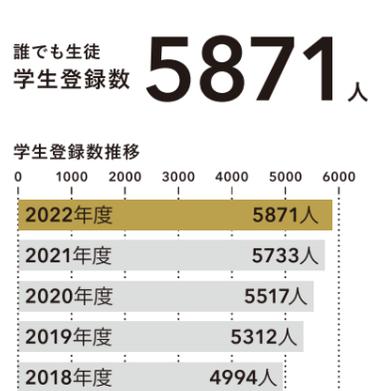
学ぶは面白い。  
学びたいときに、学ぼう

興味のあることを学ぶうちに、今まで知らなかったことに気づく。知らなかったことを知りたくなり、新たな学びに足を踏み入れる。好き・楽しいから始まる「学び」は、「遊び」との境界があいまいになるくらいワクワクするもの。大ナゴヤ大学は、年齢に関係なく学びたいときに学べる場として、門戸を開いています。ワクワクしたその瞬間から学び始めましょう。

みんなでつくる、  
「学ぶ・学び合う」場へ

「一人目の生徒として、自分が受けた授業をつくる」という考えを大切に、授業づくりをしてきました。2022年度より、いろいろあった授業を目的ごとに「大ナゴヤの日」・「まちシル」・「城子屋」と整理し、大ナゴヤ大学は「学ぶ・学び合う」場のプラットフォームとなりました。

大ナゴヤ大学では、人が集う場をつくり、  
「授業」という「未来の可能性」と出会うコンテンツを提供しています。



まちじゅうがキャンパス  
教室 **390**カ所

まちにいるあの人!  
先生 **716**人

「面白いがる視点」で授業づくり  
授業コーディネーター **84**人

垣根なく集まっています  
ボラスタ **305**人

2022年度実績

年間授業総数 **34** コマ  
2020年度:32コマ  
2021年度:39コマ

のべ授業参加者数 **431**人  
2020年度:406人  
2021年度:471人

## About

# 大ナゴヤ大学 大ナゴヤの☺

紹介ページへ



## 大ナゴヤの日とは?

2021年4月から「まだ見ぬ、面白いに出会う」をキーワードにさまざまな授業を企画してきました。多様なテーマを扱うことで偶然の出会いを生み、授業を通して学びの面白さと出会える場を目指します。大ナゴヤの日の授業は、たくさんさんのボランティアスタッフと一緒に運営しています。授業をよりよくするための振り返りを毎月行うなど学び合いの場づくりを通じ、自分の思いを言葉にする機会も多く、「ありがたい」自分に気づけるコミュニティにもなっています。

## どんな授業?

毎月第2土曜に、参加費無料の授業を展開しています。大ナゴヤの日の授業は、老若男女問わず集まってひとつのテーマについて考えながら交流することで、思わぬ出会いや気づきが生まれる学び合いの場です。

### 「大ナゴヤの日」授業 PICK UP

#### 戦争ってなんだ? ～私たちの暮らしの平和と安全について考える～

◎開催日時|2022年4月9日(土) 10時～12時30分 ◎教室|TOUTEN BOOKSTORE、オンライン  
◎先生|アーヤ藍、小野山 亮(平和村ユナイテッド代表理事)、小原 智恵(朝日新聞名古屋報道センター)  
◎授業コーディネーター|山田 卓哉

メディアやSNSから届く情報だけでは“自分ごと化”しづらい、「戦争」の話題。戦争による国家や市民への影響を肌で感じたことがある先生方に、それぞれの視点で戦争のリアルを語っていただき、自分たちが社会に対してできることを考えました。



#### いろいろ持ち寄り会～みんなでシェアして楽しもう～

◎開催日時|2022年9月10日(土) 13時～14時40分 ◎教室|スペース七番 スペース3  
◎先生|参加者の皆さん ◎授業コーディネーター|押村 玲

名古屋名物として知られている「いろいろ」は、実は、味も形もバリエーション豊か。みんなでいろいろを持ち寄って味わい、語り合いました。シェアしたいろいろの情報を白地図に書き込み、最後は「大ナゴヤいろいろMAP」を完成させました。



#### 記者と一緒に聞く!まちで活動するあの人の「その後の話」 ～soiro living 松本啓太さん～

◎開催日時|2023年3月11日(土) 10時30分～12時 ◎教室|soiro building 3階イベントスペース  
◎先生|松本啓太 / soiro living ◎授業コーディネーター|名駅経済新聞・サカエ経済新聞 編集部

名駅・サカエ経済新聞がこれまで取材をしてきた人に会いに行き、「その後の話」を聞こう!という授業を企画。新大門商店街のビルにDIY工房などを構え、まちの活動にも関わるsoiro livingの松本さんにインタビューをしました。



## 学び合いの場から生まれるコミュニティ

「みんなで作る」を大切に、授業という“学び”の場をボランティアスタッフ(=ボラスタ)の皆さんと一緒につくってきました。

毎月第2土曜の「大ナゴヤの日」を中心に、授業後には「振り返り」の機会を設けるなど、メンバー間での“学び合い”の場としての機能も持たせています。さらに、同日にボラスタ同士がお互いをもっと知るための懇親会なども開催。定期的な人が集まり、ゆるやかなつながりが広がっていく環境から、コミュニティが生まれています。

このコミュニティでは、次の2つの言葉を大事にしています。

「あなたの好きも みんなの好きも たいせつ」

「学び合いから生まれる 次の一歩」

“好き”という感覚を大切にしながら、“行動してみる”文化が生まれ、授業づくりにチャレンジすることも。2023年度は、「大ナゴヤの日」の運営を一緒につくっていく取り組みも始まります。



### 主な活動

#### noteマガジン

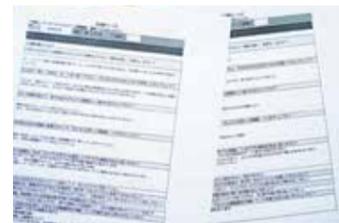


noteマガジン「大ナゴヤなひと。」では、多種多様なバックグラウンドをもつ大ナゴヤ大学の各メンバーにフォーカスを当てて発信しています。2022年度には、第9回・第10回の記事を更新。



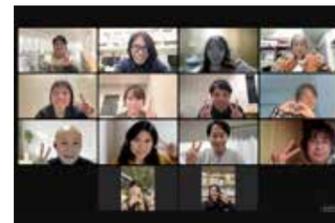
#### つくり方ゼミ

授業をつくったことのないボラスタ向けに、事例を交えながら授業づくりのポイントを伝える場を設けています。2022年度のゼミから生まれた「いろいろ」の企画は、9月に授業として実現。



#### 録年会

大ナゴヤ大学の1年を振り返り、記録するため、毎年12月に実施している録年会。有志で企画を練り、2022年度はテーマを設けての自己紹介やクイズなどオンラインで2時間のプログラムを進行。



### ボラスタ行動指針

- 1 やりたいという気持ちを大切に
- 2 自分の思いを言葉にする
- 3 相手を尊重する
- 4 学び合う姿勢をもつ
- 5 何事も面白がる

### 寄付について

サポーターの皆さまからいただいた寄付金は、授業における講師謝礼等に充てさせていただきます。

#### サポーター費用

年間サポート

500円/月  
1,000円/月  
2,000円/月

ワンタイムサポート

指定なし

### NPO法人 大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク

大ナゴヤ大学  
授業

大ナゴヤの   
・講師謝礼  
・コーディネーター費  
・会場費

#### コミュニティ

大ナゴヤ大学の運営と共に、関わる人たちが集うコミュニティが運営され続ける

#### プロジェクトや活動が誕生

大ナゴヤ大学の活動を基軸に、まちを彩る新たなプロジェクトが生まれる

◎「大ナゴヤの日」に関わる費用  
◎各種運営費  
(事務所やWebサイトに  
関わる固定費)  
...など

寄付

サポーターに  
なっていただく

◎月々の実施報告  
◎報告会・報告書の発行  
...など

サポーターの皆さま

## ワタシの気づき、変化



オシムさん

## オシムさんの歩み @DNU

- 2020.10 「SOCIAL TOWER MARKET」にボラスタ参加、大ナゴヤ大学を知る
- 2020.11 「Meetup!」参加、大ナゴヤ大学ボラスタ登録
- 2020.12 ボラスタデビュー
- 2021.4 ボラスタ交流企画「クローズアップ」運営メンバーとなる
- 2022.9 授業コーディネーターデビュー

## 「面白い」に飛び込んだら、身近な世界が広がった

- A1. 身近に面白い場があることに気づきました。過去の授業レポートを見て「私もボラスタをやりたい!」とワクワクした気持ちに間違いはなかったなと思います。コーディネーターデビューで「いろいろ」がテーマの授業をつくった際には、リサーチのためお店の方への取材にも挑戦。個人では交渉が難しいことも、大ナゴヤ大学の活動だからこそ実現できました。
- A2. 大ナゴヤ大学の仲間から得る情報で、興味も行動の幅も広がりました。大ナゴヤ大学に関わる他のイベントでもボラスタになったり、過去の授業に関連する場所を訪れたり。コロナ禍で遠出が難しい時期でも、近場で好奇心を満たすことができました。
- A3. 自分が「面白い!」と思ったことを授業として発信したいです。少し前に友人に大ナゴヤ大学のことを話したら、知らない間に授業に参加してくれていたことがとても嬉しかったので、大ナゴヤ大学という場の魅力も周りに伝えていけたらいいなと思います。



ジェイさん

## ジェイさんの歩み @DNU

- 2016.10 大ナゴヤ大学の授業に初参加
- 2018.1 ボラスタデビューでレポートを担当
- 2019.3 「大ナゴヤノート」のエディターになる

## レビューの星5より、自分の心が動くものを追って

- A1. 「大ナゴヤノート」のエディターたちと意見を交わし合う中で、人それぞれ「不完全」でも大丈夫という前向きな気づきを得られました。会社では、苦手なことやできないことはマイナス評価になります。でもそれを個性として捉えて長所に目を向ければ、むしろ凸凹が激しいほうが面白い。人も組織も、凸凹があってもいいんだと感じました。
- A2. 神奈川県から就職で愛知県へ。最初は、観光サイトや雑誌で評価が高い場所ばかり回っていました。「ノート」の記事の取材やリサーチで身近な場所の変遷を知ってからは、まちの景色がぐっと味わい深く見えるように。馴染みのないまちを訪れた際にも、自分から何かを探して楽しむ習慣が身につきました。
- A3. 今はまだ「誰かの視点」でまちを楽しむことが多いですが、もっと「自分の視点」で人を楽しませられたら。いずれは、フィールドワークの活動「オープンノート」で先生ができるくらい、まちを面白がれるようになりたいです。

大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワークのさまざまな場面で活躍する人たちにお話を聞いてみました。それぞれにどんな変化が訪れたのでしょうか。

- Q1. 活動を通して、どんな「気づき」がありましたか?  
 Q2. あなたの「暮らし」「考え方」「行動」に起きた変化は?  
 Q3. これからどんな活動をしていきたいですか?

## 山里から能舞台まで、出会いと刺激はあちこちに

- A1. 家庭と仕事のつながりだけでは知り得ない経験から、たくさんの気づきを得ました。特に印象的だったのが、南信州・下栗の里の方々との交流です。名古屋大学を教室に開催された授業に参加し、その5年後、実際に地元の祭事「霜月祭り」のお手伝いへ。里の人の「変えてほしいのではなく、知ってほしい」という言葉が心に残っています。
- A2. 「やっとかめ文化祭」で狂言と出会い、ハタラクデアイで能楽師の鹿島俊裕先生にインタビュー。これをきっかけに、2017年から月に3回、鹿島先生の狂言教室に通うようになりました。2018年からは毎年、名古屋能楽堂の素人発表会で舞台に立っています。
- A3. これまでにも十分刺激をもらってきましたが、もっと若い時に大ナゴヤ大学に出会っていたら、今とは違う自分がいたかもしれないとも思うことも。そのため、多様な人に大ナゴヤ大学に興味を持ってもらえるようお手伝いをしていきたいです。また、伝統芸能の魅力や、実際に体験することの面白さも発信できればと考えています。



わかさん

## わかさんの歩み @DNU

- 2010.8 授業に初参加
- 2010.11 「地球の生物部」に初期から参加
- 2011.2 有志で「大ナゴヤカフェ」を立ち上げ、2015年まで不定期開催
- 2011.7 「ハタラクデアイ」の記事制作やイベント企画運営に関わる
- 2013.10 「やっとかめ文化祭」第1回から大使として参加
- 2016 「ハタラクデアイ」で鹿島先生にインタビュー、「能楽師と語らナイト」企画、お稽古体験企画
- 2020.5 「ハタラクデアイ」で「狂言と出会ってみナイト」企画
- 2021.10 「狂言を学ぼう!」授業企画をサポート

## 「やってみよう」という素直な気持ちを大切に

- A1. 授業でさまざまな先生のお話を聞く中で、どんな業界・業種においても地道な努力や工夫がなされていることを知りました。今後でもできるだけ多くの授業に参加して、たくさんの人や物事から知見を広げられたら嬉しいです。
- A2. これまで、自分の考えをまとめるのに時間がかかってしまうことに悩んでいました。大ナゴヤ大学の授業やミーティング、交流の場などで自分の意見を話す機会が増えたおかげで、この悩みを克服できた気がします。「まずはやってみよう!」という気持ちで、2年連続で録年会の企画・進行にも挑戦。どんな企画を盛り込むかチームで考えてつくりあげていく過程を楽しめました。
- A3. 授業コーディネーターにチャレンジしてみたいです。今考えているのは、以前から興味のある「私設図書館」をテーマにした授業。気軽に交流ができたり、利用者も企画を実施できたり、地域とつながったり、「まちの居場所」としての私設図書館の魅力が伝わる授業をつくりたいです。



みやけさん

## みやけさんの歩み @DNU

- 2016.6 大ナゴヤ大学オープンキャンパスに参加
- 2016.7 授業に初参加、ボラスタ登録
- 2016.9 7周年授業でボラスタデビュー
- 2021~ ボラスタ募集に関わる
- 2021~22 録年会チームに参加
- 2022 授業のつくり方ゼミに参加

## About

# まちシル

歩くまちには、何がある？

紹介ページへ



### 歩くまちには、何がある？

まちを知る楽しさを体感できる、まち歩き形式のプロジェクトとして、2022年4月にスタートした「まちシル」。身近にあるまちの面白さを、さまざまな視点から見つめます。

2022年度実績 開催数 **16** コース

2022年度の「まちシル」コース一例

#### なつかしくて新しい！円頓寺商店街界隈を歩こう

◎開催日時 | 2022年4月16日(土)10時～12時  
◎教室 | 円頓寺商店街界隈  
◎先生 | 藤田 まや(まちのコーディネーター/株式会社ナゴノダナバンク 代表)

円頓寺商店街で生まれ育ち、実家の化粧品店を手伝いながら、地域の空き家対策やまちづくりに取り組んでいる藤田まやさんと一緒にまち歩き。商店街のメインストリートから歴史的な街並みの残る四間道エリア、さらには地元民しか知らないようなディープな場所にも足を運びました。



#### 江戸から令和へ。日本遺産のまち・有松の今を知る ～絞りで人生が変わった人たちに会いに行こう～

◎開催日時 | 2022年5月15日(日)10時～12時  
◎教室 | 有松界隈  
◎先生 | 武馬 淑恵(有松関人案内所 所長/合同会社ありまつ中心家守会社)

歴史ある街並みが残る絞りのまち・有松を、市役所の職員から転身してまちの遊休不動産の管理やイベントの企画に関わる武馬淑恵さんが案内。まち歩きの後半は、有松絞りの工程の一つ「括り」に着目したアパレルブランド「cucuri」の制作現場にも潜入しました。



#### 2022年度の「まちシル」実施エリア一覧

- |                             |                   |
|-----------------------------|-------------------|
| 4月 円頓寺商店街、尾張瀬戸、中村遊廓跡        | 10月 清水～尼ヶ坂、星が丘テラス |
| 5月 有松、犬山城、ブルーボネット           | 11月 藤が丘           |
| 6月 文化のみち、新栄町～上前津のモザイク壁画、長者町 | 12月 東岡崎、特別編       |
| 9月 築地口、柳ヶ瀬商店街               |                   |

## About

# 大ナゴヤノート.

まちを見つめて 書きとめて

紹介ページへ



### まちを見つめて 書きとめて

「大ナゴヤノート.」は、エディターたちがまちで見つけた「いいな」「面白い」と感じるヒト・モノ・コトを、率直な言葉で記事にしているメディアです。2023年4月で開設4周年を迎えました。エディターのコミュニティは、書くことを通じて学び合う場にもなっています。

**ノート.**  
2022年度実績 掲載記事数

**4** 本

エディターがまちを各々の目線で切り取り、書きとめた記事を掲載しています。同じテーマで複数人が記事を書き、まとめたオムニバス形式の記事も。



**オープンノート.**  
2022年度実績 開催数

**1** 本

大ナゴヤノート.のエディターたちのように、まちを自分の目線で見つけに出かけるフィールドワークです。各々が見つけた魅力を共有し、視野を広げます。



## About



# はたらく課

紹介ページへ



### そんな“はたらく”との出会い

運営：2011年に、大ナゴヤ大学のボラスタが有志で集まり立ち上げた活動。原則月1回定例ミーティングを開催しています。

出会いという言葉には、人との出会いだけでなく、「めぐりあい」という意味もあります。はたらく課は、“はたらく”とのめぐりあいを生み出す活動です。いろんな“はたらく”を知ること、これからの人生が変わっていくかもしれない。大ナゴヤ圏のはたらき方、生き方にスポットをあて、“はたらく”を通じて人とまちをつなげています。

まちの求人案内  
掲載記事数

**4** 本

まちの求人案内「ハタラクデアイ」を通じて、新しい“はたらく”と出会った人も出てきました。これからも、求人記事を通じて、“はたらく”との出会いを丁寧につくっていきます。



はたらくインタビュー  
掲載記事数

**3** 本

はたらく課の活動の原点である、はたらく人へのインタビュー記事。地道に積み重ね、これまでに28名の記事を公開しました。28通りの“はたらく”を、覗いてみてください。



## 食ゼミ



大ナゴヤ大学の通常講座「マルシェ・ジャポンでカービング体験」に参加した生徒からの声で2010年3月に結成された食ゼミ。農業、調理、社会見学など、メンバー各自が興味のある分野で活動しています。2022年度は8回のイベントを開催し、食ゼミ結成以来100回目のキッチンを開催することができました。2023年も感染対策をした上で、工夫しながら活動の機会を広げていく予定です！

Webサイトへ



## 地球の生物部



「地球の生物部」は、まちの一角にある植栽スペースで毎月第1木曜の朝8時から1時間ほど、花植えや草取り、水やりなど植物のお世話をしています。公共空間を自分たちで楽しく手入れすることで、自分のまちに関心をもってもらいきっかけの場をつくっています。

◎生物庭手入れ：第1木曜8:00～9:00頃（自由参加）

◎生物庭の場所：地下鉄矢場町駅4番出口を南へ。若宮大通久屋 交差点付近

Facebookページへ



## そうぞう室



そうぞう室は、「ナゴヤの視野を5° 広げる」をコンセプトに、モノをつくる創造力と、考えや思いをめぐらす想像力を育てていくことを目的とした研究室です。2022年度は、そうぞう室定番の落語や夏祭りのイベントを開催することができました。今後も少しでも視野が広がるような楽しい会を企画できればと考えています。

Webサイトへ



## 郡上大和 酒づくり研究会

岐阜県郡上市大和にある平野醸造の水・杜氏・米すべて“メイドイン・オールグジョー”な酒づくりを応援。2022年は久方振りに田植えに参加。田植え唄を響かせ、お腹が空いたらみんなで手作りした朴葉寿司を頬張りながら。12月には蔵開き。今年の一推しは郷土料理のニシンずし。新酒と合わないわけがありません！蔵人や地域の人との再会も楽しみました。来シーズンはまた寒の蔵開きを楽しみに、田植えに汗を流していきたいところです。



# まちの人と一緒につくる

大ナゴヤ大学が培ってきた、

まちの魅力を掘り起こして場をつくる力、多様な人と人をつなげる力。

それらを必要としてくださる人たちと一緒に、

新たな事業も生み出し、育て続けています。



やっとかめ  
文化祭

芸どころ・旅どころ・なごや

城子屋

shirokoya



SOCIAL TOWER  
PROJECT

cccc

Co - Creative Community Class

## About

### やっとかめ文化祭

#### 名古屋の歴史・文化と出会う

2022年で10年目を迎えた「やっとかめ文化祭」は、長い歴史の中で育まれてきた名古屋の文化を一堂に集めた祭典です。2015年から、名古屋市や中日新聞などで構成される実行委員会の一員となりました。2022年は新たに「まちなか寺子屋」の企画・運営も担い、大学の先生など名古屋に詳しい専門家とのつながりも生まれました。これからも、知らない名古屋と出会える機会をつくっていきます。

Webサイトへ



### 城子屋 shirokoya

#### 名古屋城を学びの場に

名古屋城を、江戸時代の「寺子屋」のように地域に開かれた学びの場とするプロジェクト。昨年度より、名古屋城調査研究センターによる企画もスタートし、多彩なテーマと城をかけた講座を実施しています。2022年度は、調査研究センターと大ナゴヤ大学で合わせて全7講座を企画。内容は、城内の庭園、石造物、尾州織物、算額、名古屋商人など。

名古屋城のWebサイトにもレポートが掲載されるようになりました。



### SOCIAL TOWER PROJECT

#### 名古屋のまちに新しいカタチの“社交場”を

2012年にテレビ塔のある公園からスタートした「SOCIAL TOWER MARKET」。2022年は、テレビ塔、名古屋城とならぶ名古屋のシンボル、オアシス21で初開催。これまで以上に身近で日常的な「社交場」づくりにチャレンジしました。10月の名古屋城や2月の松坂屋とあわせて年6回の開催となったマーケット。ボランティアスタッフの皆さんにも年間を通して参加していただき、まちとつながる展開をいっしょにつくりあげていきます。

Webサイトへ



## DNUからの お知らせ

1

### まちのコミュニティマネージャーを育成する 「Co-Cultivate Community Class」を始動

これからのローカルビジネスのつくり方を学ぶ新たな授業群として「Co - Cultivate Community Class(CCCC)」の立ち上げに挑戦しました。コミュニティを形成し、事業を生み出してきた方々を講師陣に迎え、全6回にわたる講義と実践形式で学び、まちのコミュニティマネージャーを目指す講座を実施しました。最終的には13名の受講者の中から、3つのプロジェクトが生まれ、実践しました。



2

### 開校13周年！ テーマは「大ナゴヤ大学の現在地」



2009年9月に開校した「大ナゴヤ大学」は、2022年9月に13周年を迎えました。2019年に10周年の授業を実施して以来、コロナの影響や組織体制の見直しもあり周年企画を実施できず、実に3年ぶりの記念授業開催となりました。

コンセプトは、「大ナゴヤ大学の現在地」。大ナゴヤ大学で起きてきたこと、これから起きることを体感してもらえるような授業「面白い」との出会いを生む学びってどんなもの？～北欧デンマーク式の学習を体験しよう～、「ういろう持ち寄り会～みんなでシェアして楽しもう～」、「インタビュー&記事づくりに挑戦！理事長に聞く、大ナゴヤ大学のこれまでとこれから」を実施しました。

また、13周年のお祝いのためのファンドレイジングを実施し、12名の方から32,257円の寄付をいただきました。



3

### 名古屋市のワークショップ 「なごや未来想像ワークショップ」の運営に参加

2022年10月から2023年1月まで、4回にわたって実施された、名古屋市主催の「なごや未来想像ワークショップ」の事務局運営に関わりました。このワークショップは、幅広い年代、職種の参加者が集まり、名古屋市の目指す将来像について意見を交わし、提言する場です。大ナゴヤ大学のスタッフもお手伝いをしながら、名古屋の未来を一緒に考えました。

## しなやかに、続いていくように

2022年度は、新プロジェクト「まちシル」が本格稼働。開校当初から関わりのある円頓寺商店街・有松・長者町に加えて、星が丘・藤が丘・北区の清水～尼ヶ坂など新しいまちの方々と繋がりも増えました。名古屋市にも面白いまちが増えていくので、これからも楽しみです。毎月第2土曜に開催している「大ナゴヤの日」は、安定的に授業を実施できるよう運営体制を見直し、少しずつ先にどんな授業が実施されるかが見えるようになってきました。一方で授業をつくること自体は目的ではないので、学ぶことが面白くなり、楽しく活動する人が増え、結果的に「授業」というアウトプットが増えていく環境を整えていきたいです。

理事長  
大野 高明



## 「生む」を楽しむ

自分自身新たな取り組みと向き合うことの多い一年でしたし、たくさんの大ナゴヤな仲間たちが授業づくりに挑戦する姿を見てきた一年でした。CCCCでプロジェクトを立ち上げ、課題意識の解決に向けて策を練る。大ナゴヤ大学の授業のコーディネートにチャレンジする。頭を捻り、どう伝えたらいいのか唸り模索しながらカタチにしていける努力を応援していけたらと思っています。好きをカタチにすることは簡単なことではないのだけれど、場をつくる楽しみや人に伝える喜びは他に変えられないものだと思っています。これからも皆さんにとって好きをカタチにすることに挑戦し、楽しめる場が大ナゴヤ大学であってほしいと考えています。今年もたくさんのお好きがカタチになりますように。

理事  
山田 卓哉



## 節目に向けて

また1年、たくさんの方のご参加、ご協力に感謝申し上げます。来年、2024年は大ナゴヤ大学が15周年を迎える節目の年です。ここからの1年は、15周年に向けて活動の意義をきちんと問い直す時間となるでしょう。2023年の始め、ボラスタさんと大ナゴヤ大学のこれまでを振り返りながら、組織の運営について考える機会がありました。開校当初と今を並べても、活動の中身も求められていることも変化している。この先、大ナゴヤ大学はどんな価値を生み出し、どのように必要とされていくのだろう。いろんな人とお話しできたらと思っています。

理事  
小林 優太



## 大ナゴヤ大学サポーター

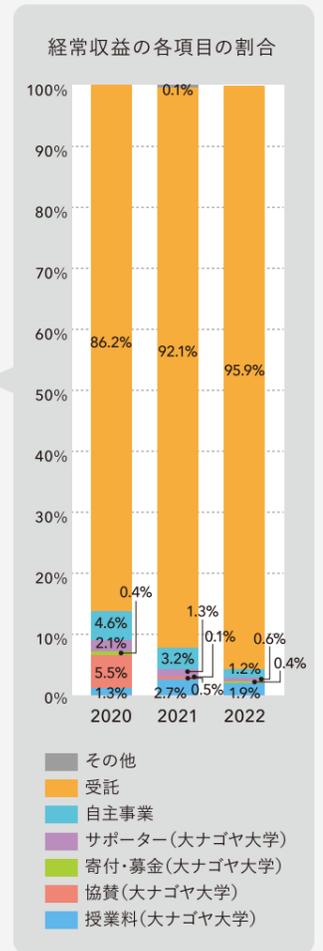
サポーターの皆さまからいただいた寄付金は、事務所家賃・サーバー費・電話代・第2土曜に開催される授業の講師謝金などに充てさせていただきました。

	2020年度	2021年度	2022年度
月額・年額サポーター	39名	36名	33名
ワンタイムサポーター	1名	0名	0名
受取会費	332,746円	189,277円	160,116円

## 活動報告

活動計算書(会計期間:2022年4月1日~2023年3月31日) (単位:円)

	2020年度	2021年度	2022年度	
経常収益	①受取会費	332,746	189,277	160,116
	②受取寄付金	58,426	11,500	96,534
	③事業収益	15,787,541	14,227,760	26,911,297
	④その他収益	1,045	11,039	34
経常収益合計	16,179,758	14,439,576	27,167,981	
経常費用	①事業費	9,728,279	9,060,078	19,313,248
	②管理費	5,822,336	6,236,150	7,640,993
経常費用合計	15,550,615	15,296,228	26,954,241	
当期経常増減額	629,143	▲856,652	213,740	
法人税等	191,700	71,000	71,000	
当期正味財産増加額	437,443	▲927,652	142,740	
前期繰越正味財産額	5,387,092	5,824,535	4,896,883	
次期繰越正味財産額	5,824,535	4,896,883	5,039,623	



2022年度の経常収益は27,167千円、経常費用は26,954千円でした。新たにやっとかめ文化祭の「まちなか寺子屋」を受託したため経常収益は大幅に増加したものの経常費用も増加し、当期経常増減額は142千円となりました。

フォロー・登録してね

SNSでも  
大ナゴヤ大学の  
情報を発信！



Facebook



Twitter



Instagram



YouTube



## 大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク 2022年度活動報告書

Dai Nagoya University Network  
ANNUAL REPORT  
2022

進行: 齊藤 美幸  
制作: COUPGUT

特定非営利活動法人 大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク  
〒460-0011名古屋市中区大須3-42-30 ALA大須ビル201(事務局所在地)  
TEL 070-5459-8213 E-mail dai-nagoya@univnet.jp  
**dai-nagoya.univnet.jp**